

あさひの  
日常活動  
松山 喜子

Aさん(横地分類A1)に歌いかけると、手や目の動きを止めてとてもよく聞いています。特にゆったりしたりリズムの伸びるようなフレーズの歌をよく聞く様子が見られます。「虹」を歌いかけました。歌が始まると、Aさんは声でする方に視線を向けて、手の動きを止めて耳を傾け始めました。歌い進めていくとどん

どん真剣な表情になり、歌いかけにぐっと集中していく様子がわかりました。ゆったりしながらもスキップするような独特のリズムやメロディに気持ちのつてきたようで、表情も徐々に和らいでいきました。「くもがながれて、ひかりがさして」と韻を踏む歌詞も、よりリズムを感じやすかったようでした。そして「ラーラーラー」のフレーズの後に歌の一番の盛り上がりに入ると、Aさんの目により強く力が入る感じがあり、大きく息を吸い込んで体の動き

も止まります。サビに向かって徐々に盛り上がりつついく曲調やサビからの長く伸びのあたるメロディを、体全体で感じ取っているように見えるほどAさんの気持ちの高まりを感じました。繰り返し歌うと、口元が緩み、よりじっくり聞こうと声のする方に顔を動かす姿も見られました。ふと見ると、隣にいた別の利用者もこちらを見てにこやかな表情で聞いていました。その利用者も一緒に「虹」の持つ独特なリズムや伸びやかなメロディを感じて気持ちが高まっていたようでした。

「あー」と優しく穏やかな声が聞かれることもあります。職員の声色や言葉の抑揚を聴いてそれを心地よいと感じているだけでなく、その一つの声かけからこちらの好意や親愛の感情を受け取っているようです。「親子ペンギンジェイとドゥ」を語りかけました。読み始めると本にチラッと視線を向け、その後は職員の顔をじっと見て聞き始めました。「さて作戦開始だ」「おかあさんぜったい喜ぶよね」とジェイとドゥの会話の掛け合いが始まると、目の動きを止めてじっと耳を澄ます様子が見られました。「お父さんこれこれ、お母さん好きだよ」というドゥの会話に、それまでじっと真剣な表情で聴いていたBさんの表情が緩みました。そのフレーズから優しい感じや温かみを感じたのだと思いましたが、そして話が進んでいくと、顔だけでなく体をこちらに向け、語りかけをより聴こうと集中しているのが分かりました。話の山場に向かうにつれ、会話の掛け合いのテンポも速くなり、口調もだんだん強くなつていきます。Bさんの表情はそれまでよりさらに真剣になり、職員の次の言葉を待つように口元をじっと見て聴いていました。会話の

掛け合いのテンポや一つ一つのフレーズなどから、場面の緊迫感や盛り上がりを感じているようでした。さらに進んでいくとBさんの表情は緊張

横地分類

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉					
E6	E5	E4	E3	E2	E1
D6	D5	D4	D3	D2	D1
C6	C5	C4	C3	C2	C1
B6	B5	B4	B3	B2	B1
A6	A5	A4	A3	A2	A1
戸外歩行可	室内歩行可	室内移動可	座位保持可	寝返り可	寝返り不可
(移動機能)					

簡単な計算可  
簡単な文字・数字の理解可  
簡単な色・数の理解可  
簡単な言語理解可  
言語理解不可

〈特記事項〉  
C: 有意な眼瞼運動なし  
B: 盲  
D: 難聴  
U: 両上肢機能全廃  
TLS: 完全閉じ込め状態



Bさん(横地分類A1)に「おはようございます」とあいさつしたり、食事中に「おいしいですか?」と声をかけるとふわっと表情が緩みます。

しているような表情に変わっていききました。眉間にしわをよせ、少し困ったような悲しそうな表情にも見えました。そして話が山場を超え、終わりに向かっていくとBさんの表情から緊張は消え、じつくり聴く姿が見られました。Bさんは語りかけの中の言葉の抑揚やリズム、会話のテンポに加え温かみのあるフレーズや緊張感のあるフレーズから、場面ごとの情感を感じて聴いていたのではないかとみえました。